



学んだ土木の力で、
島根の農村と未来を支える

益田県土整備事務所

農村整備課 技師

<採用> 令和4年度
<出身> 島根県
<これまでの職場>
R4～R6 大田事業所
R7～ 現在の職場



県職員を選んだきっかけは？

学んだ知識が、地域の力になる

私は高校時代に土木分野を中心に学んでおり、将来は学んだ知識や技術を生かせる公務員として働きたいと考えていました。

そうした中、高校で島根県庁の農業農村整備によるガイダンスを受ける機会がありました。農村地域を支え、農業の発展に貢献する農業農村整備の仕事を知り、その重要性ややりがいにも強く魅力を感じました。

学んできた土木の知識を生かしながら、地域に貢献できる仕事がしたいという思いが強くなり、島根県職員として働くことを決意しました。

印象に残っているエピソード

仕事のやりがいを再確認できた出前授業

小学校や中学校、高校で農業農村整備に関する出前授業を行ったことが印象に残っています。

子どもたちから「興味を持った」「仕事に魅力を感じた」という感想をいただき、自分たちの仕事の魅力が次世代に伝わったことを実感し、仕事へのモチベーションもさらに高まりました。それと同時に、将来この中から島根を支える公務員や地域の担い手が生まれてほしいと思いました。

現在の仕事内容は？

農村地域に寄り添ったより良いものを

私は、農業者の皆さんがより効率的に農業を行えるよう、水田や水路、ため池などの整備を行う農業農村整備事業を担当しています。

現在はほ場整備事業に携わっており、小さな農地を大きく使いやすいように形を整備することで農作者の省力化や生産性の向上を目指しています。地域の皆さんとの話し合いを重ねながら、より良いものになるよう取り組んでいます。

オフの過ごし方は？

VISCA BARÇA(バルサ万歳)

休日は思いっきり楽しむように心掛けています。趣味のサッカーを楽しんだり、連休には友人と旅行に出かけたりして、充実した時間を過ごしています。オンとオフのメリハリをつけることで、リフレッシュした状態で仕事に向かうことができます。

将来は、スペインのプロサッカークラブFCバルセロナの試合をホームスタジアムのカンプ・ノウで観戦することが目標です。その夢に向けて、スペイン語の勉強を頑張っています。